

## 2023年度安全ディスカッション

# 日田彦山線BRTを視察 安全意識を高める

JR九州連合は1月29日、安全ディスカッションを開催した。  
JR九州バス(株)の協力のもと、2023年8月28日に開業した日田彦山線BRT（ひこぼしライン）にかかる現地視察を実施した。

添田支店で施設説明のほか、安全運行を支える運行管理や車両設備やその整備方法等について説明を受けた後、実際にBRT（添田～日田駅間）に乗車し、沿線の様子やご利用状況などを確認した。



## BRTとは・・・



## ひと、地域、みらいにやさしい

BRTはバスが専用道等を走行することで、速達・定時性の確保や輸送力の増大を可能とするシステム。各地で地方路線のあり方の議論が加速する中、持続可能な地域公共交通機関として注目を集めている。

平成29年7月九州北部豪雨により被災した日田彦山線添田～夜明・日田駅間を県・沿線自治体との協議を重ね、JR九州が九州初となるBRTにて復旧し、JR九州バス（一部、日田バス）に運行を委託する。なお、開業にあたっては運行本数の増便や添田駅における列車と同一ホームによる乗換、生活に密着した地区に新駅を増設するなど、より便利で利用しやすい交通機関となるように志向された。



その後、福岡市内にてJR九州バス(株)の吉住信哉常務取締役より「JR九州バスの輸送安全の取り組み」について講義を受けた。JR九州バスの安全に関する基本的な考え方や目標、その達成状況について説明を受けた後、今後の経営方針や目前に迫る2024年問題に対する課題認識とその対応、BRT開業に伴う運輸局や日田バス等との調整や連携、運賃設定に対する課題認識、設備投資を含めた様々な視点による「人への投資」の必要性等について参加者と意見交換を行った。



JR九州連合は引き続き、安全の取り組みについて加盟単組間で情報共有を図り、職場の最前線から安全を創るべく、安全面に問題がないか、厳しいチェック機能を果たしながら、労働組合としての存在感を発揮していくこととする。